

世田谷区における小学校のいじめ防止の取組について

1 主 旨

昨年度、改定した区の「いじめ防止基本方針」を踏まえ、傍観者の存在に着眼し、小学校におけるいじめに正面から向き合い、自ら考え、行動するためのプログラムの開発を進め、今年度から全区立小学校に導入することから、その内容等について報告する。

2 概 要

フィンランドの「KiVa プログラム」をはじめとした、いじめ防止に関する先進的な取組を参考として開発した、傍観者に視点を当て、小学校におけるいじめを許さない環境づくりやいじめを見た時の行動の仕方等を身に付けるためのプログラム（仮称「ともだちスクラムプログラム」）。

(1) アドバイザー

大阪教育大学 教授 戸田 有一 先生

(2) 内 容

「いじめの理解」「いじめを止める方法」「温かいクラスづくり」の3点を基本的なねらいとして、それぞれの場面で必要な声かけや教材、活動等のポイントを示し、道徳や学級活動等の様々な授業や教育活動に活用できるようにする。

(3) 児童や保護者の声（昨年度の検証授業）

【児童】

- ・いじめられている子の味方になることは、いじている子の敵になることではないと思います。
- ・いじめられている子に声をかけ、みんなで味方になることが大事だと思います。

【保護者】

- ・いろいろな人がいて、いろいろな考えがあって、「うまくやっていく」「相手を尊重する」ことを身に付けてほしいと思います。
- ・「こういうときはどうする？」などの場面を考えながら、言った子の気持ち、言われた子の気持ちについて子どもと話す中で、「もしかしたら、こういう解決法もあるかもしれないね」と、子どもが授業を思い出しながら提案していました。

3 その他

中学校においては、引き続き「いじめ防止プログラム」を実施し、スクールバディの取組の充実を図る。

また、幼児の人間関係づくりや感情表現をサポートするために、ピースフルスクールプログラム（仮称「なかよしすくすくプログラム」）に関する教員研修を実施し、幼稚園から中学校までのいじめ防止の取組の総合的な取組を構築する。

4 今後のスケジュール（予定）

令和元年 5月～ 教員研修の実施（模範授業）、全区立小学校で実施
9月～ プログラムの検証
12月 文教常任委員会